

2025/5/15 第 164 回理事会

資料 2

2024 年度収支決算及び公益目的支出計画実施報告書案

1. 定款第 40 条第 1 項の定めに従い、2024 年度収支決算案の承認並びに同案を総会に諮ることの承認、を求める。
2. 法令の定めに従い、公益目的支出計画実施報告書案の承認並びに同報告書を総会で報告することの承認、を求める。

2024年度会計報告等及び2024年度監査報告



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

自 2024年4月 1日

至 2025年3月31日

2024年度会計報告等

1.収支決算案

(1) 貸借対照表	—	1
(2) 正味財産増減計算書	—	2
正味財産増減計算書内訳表		
(3) 財務諸表((1)及び(2))に対する注記及び附属明細書	—	4
(4) 財産目録	—	8

2.公益目的支出計画実施報告書案	—	9
------------------	---	---

2024年度監査報告

3.独立監査人の監査報告書

4.監事監査報告書

貸借対照表

2025年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	639,331,665	591,751,531	47,580,134
未収金	19,235,218	42,657,208	△ 23,421,990
未収利息	5,671,009	5,536,076	134,933
未収税金	7,134,208	2,579,886	4,554,322
前払金	1,750,864	1,926,282	△ 175,418
預け金	0	20,633	△ 20,633
立替金	621,023	0	621,023
前払費用	7,028,508	6,511,116	517,392
流動資産合計	680,772,495	650,982,732	29,789,763
2 固定資産			
(1) 特定資産			
国際会議参加支援資金	3,663,017	5,193,889	△ 1,530,872
減価償却引当資産	201,719,173	201,719,173	0
インターネット基盤整備基金資産	1,300,309,714	1,319,402,097	△ 19,092,383
特定資産合計	1,505,691,904	1,526,315,159	△ 20,623,255
(2) その他固定資産			
建物附属設備	13,148,247	14,395,005	△ 1,246,758
構築物	867,834	996,402	△ 128,568
什器備品	18,191,783	20,137,916	△ 1,946,133
ソフトウェア	51,792,235	59,358,256	△ 7,566,021
電話加入権	61,843	61,843	0
敷金	13,344,024	13,344,024	0
関連会社株式	140,170,000	140,170,000	0
長期前払費用	1,088,240	1,383,844	△ 295,604
繰延税金資産	5,083,166	5,860,309	△ 777,143
その他の固定資産合計	243,747,372	255,707,599	△ 11,960,227
固定資産合計	1,749,439,276	1,782,022,758	△ 32,583,482
資産合計	2,430,211,771	2,433,005,490	△ 2,793,719
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	17,777,237	34,914,593	△ 17,137,356
預り金	832,800	2,556,625	△ 1,723,825
賞与引当金	22,679,350	23,202,035	△ 522,685
未払消費税等	5,836,100	6,243,600	△ 407,500
未払法人税等	2,206,100	5,701,000	△ 3,494,900
流動負債合計	49,331,587	72,617,853	△ 23,286,266
負債合計	49,331,587	72,617,853	△ 23,286,266
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,663,017	5,193,889	△ 1,530,872
(うち特定資産への充当額)	(3,663,017)	(5,193,889)	(△ 1,530,872)
2 一般正味財産	2,377,217,167	2,355,193,748	22,023,419
(うち特定資産への充当額)	(1,502,028,887)	(1,521,121,270)	(△ 19,092,383)
正味財産合計	2,380,880,184	2,360,387,637	20,492,547
負債及び正味財産合計	2,430,211,771	2,433,005,490	△ 2,793,719

(注) 実施事業資産は次のとおりです。

その他固定資産	什器備品	2,909,813
	ソフトウェア	928,015

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(26,180,327)	(27,990,520)	(△1,810,193)
減価償却引当資産受取利息	50,429	4,045	46,384
インターネット基盤整備基金資産受取利息	26,126,613	27,986,419	△ 1,859,806
受取寄付基金資産受取利息	3,285	56	3,229
② 受取会費	(89,000,000)	(88,100,000)	(900,000)
正会員受取会費	85,200,000	84,200,000	1,000,000
賛助会員受取会費	3,800,000	3,900,000	△ 100,000
③ 事業収益	(422,548,437)	(447,324,369)	(△24,775,932)
インターネット基盤整備事業収益	63,999,722	83,017,114	△ 19,017,392
IPアドレス事業収益	358,548,715	364,307,255	△ 5,758,540
④ 受取助成金	(300,000)	(210,000)	(90,000)
受取助成金	300,000	210,000	90,000
⑤ 受取寄付金	(1,530,872)	(1,675,789)	(△144,917)
受取寄付金振替額	1,530,872	1,675,789	△ 144,917
⑥ 雑収益	(51,461,647)	(58,958,737)	(△7,497,090)
受取利息	459,668	7,563	452,105
受取配当金	49,860,000	58,170,000	△ 8,310,000
雑収益	1,141,979	781,174	360,805
経常収益計	591,021,283	624,259,415	△ 33,238,132
(2) 経常費用			
① 事業費	(444,730,065)	(442,216,720)	(2,513,345)
インターネット基盤整備事業費	151,800,394	155,458,788	△ 3,658,394
IP事業費	292,929,671	286,757,932	6,171,739
② 管理費	(99,086,068)	(89,513,741)	(9,572,327)
管理費	99,086,068	89,513,741	9,572,327
経常費用計	543,816,133	531,730,461	12,085,672
評価損益等調整前当期経常増減額	47,205,150	92,528,954	△ 45,323,804
特定資産評価損益等	△ 19,092,383	62,434,613	△ 81,526,996
評価損益等計	△ 19,092,383	62,434,613	△ 81,526,996
当期経常増減額	28,112,767	154,963,567	△ 126,850,800
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	5	0	5
経常外費用計	5	0	5
当期経常外増減額	△ 5	0	△ 5
税引前当期一般正味財産増減額	28,112,762	154,963,567	△ 126,850,805
法人税、住民税及び事業税	5,312,200	15,000,584	△ 9,688,384
法人税等調整額	777,143	43,297	733,846
当期一般正味財産増減額	22,023,419	139,919,686	△ 117,896,267
一般正味財産期首残高	2,355,193,748	2,215,274,062	139,919,686
一般正味財産期末残高	2,377,217,167	2,355,193,748	22,023,419
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	3,000,000	△ 3,000,000
一般正味財産への振替額	△ 1,530,872	△ 1,675,789	144,917
当期指定正味財産増減額	△ 1,530,872	1,324,211	△ 2,855,083
指定正味財産期首残高	5,193,889	3,869,678	1,324,211
指定正味財産期末残高	3,663,017	5,193,889	△ 1,530,872
III 正味財産期末残高	2,380,880,184	2,360,387,637	20,492,547

正味財産増減計算書内訳表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (インターネット基盤整備事業)	その他会計 (IP事業)	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	(3,285)	(0)	(26,177,042)		(26,180,327)
減価償却引当資産受取利息	0	0	50,429		50,429
インターネット基盤整備基金資産受取利息	0	0	26,126,613		26,126,613
受取寄付金資産受取利息	3,285	0	0		3,285
受取会費	(0)	(0)	(89,000,000)		(89,000,000)
正会員受取会費	0	0	85,200,000		85,200,000
賛助会員受取会費	0	0	3,800,000		3,800,000
事業収益	(63,999,722)	(358,548,715)	(0)		(422,548,437)
インターネット基盤整備事業収益	63,999,722	0	0		63,999,722
IPアドレス事業収益	0	358,548,715	0		358,548,715
受取助成金	(300,000)	0	0		(300,000)
受取助成金	300,000	0	0		300,000
受取寄付金	(1,530,872)	(0)	(0)		(1,530,872)
受取寄付金振替額	1,530,872	0	0		1,530,872
雑収益	(862,720)	(110,003)	(50,488,924)		(51,461,647)
受取利息	0	0	459,668		459,668
受取配当金	0	0	49,860,000		49,860,000
雑収益	862,720	110,003	169,256		1,141,979
経常収益計	66,696,599	358,658,718	165,665,966		591,021,283
(2) 経常費用					
事業費	(151,800,394)	(292,929,671)	(0)		(444,730,065)
給与手当	67,172,034	78,777,239	0		145,949,273
退職給付費用	3,860,576	4,735,848	0		8,596,424
賞与引当金繰入額	9,427,945	10,423,869	0		19,851,814
法定福利費	10,798,846	12,442,470	0		23,241,316
福利厚生費	147,796	184,800	0		332,596
懇親会費	1,201,968	139,377	0		1,341,345
会議費	780,439	127,793	0		908,232
交際費	33,097	141,237	0		174,334
旅費交通費	7,253,248	5,025,502	0		12,278,750
通信運搬費	8,491,565	10,292,600	0		18,784,165
減価償却費	5,420,447	21,003,548	0		26,423,995
消耗什器備品費	624,098	780,355	0		1,404,453
消耗品費	506,794	577,221	0		1,084,015
保守料	2,728,656	23,253,207	0		25,981,863
図書費	2,287	2,860	0		5,147
印刷製本費	1,597,231	1,949,132	0		3,546,363
光熱水料費	2,009,231	4,860,698	0		6,869,929
その他賃借料	7,345,517	11,241,581	0		18,587,098
不動産賃借料	6,249,910	7,814,714	0		14,064,624
機器賃借料	0	1,306,200	0		1,306,200
火災保険料	14,114	17,648	0		31,762
保険料	55,742	51,694	0		107,436
諸謝金	4,798,513	539,056	0		5,337,569
租税公課	4,155,002	22,800,557	0		26,955,559
支払負担金	690,525	57,824,096	0		58,514,621
研修費	434,067	133,784	0		567,851
業務委託費	5,146,571	15,812,908	0		20,959,479
支払手数料	515,791	407,131	0		922,922
雑費	338,384	262,546	0		600,930
管理費	(0)	(0)	(99,086,068)		(99,086,068)
給与手当	0	0	41,880,571		41,880,571
退職給付費用	0	0	2,267,725		2,267,725
賞与引当金繰入額	0	0	2,827,536		2,827,536
法定福利費	0	0	6,320,267		6,320,267
福利厚生費	0	0	439,254		439,254
懇親会費	0	0	653,064		653,064
会議費	0	0	1,684,060		1,684,060
交際費	0	0	27,550		27,550
旅費交通費	0	0	2,194,283		2,194,283
通信運搬費	0	0	3,905,619		3,905,619
減価償却費	0	0	1,892,870		1,892,870
消耗什器備品費	0	0	453,534		453,534
消耗品費	0	0	316,671		316,671
保守料	0	0	1,982,926		1,982,926
図書費	0	0	1,663		1,663
印刷製本費	0	0	1,820,867		1,820,867
光熱水料費	0	0	1,460,117		1,460,117
その他賃借料	0	0	1,499,589		1,499,589
不動産賃借料	0	0	4,541,838		4,541,838
火災保険料	0	0	10,258		10,258
保険料	0	0	30,044		30,044
諸謝金	0	0	11,397,051		11,397,051
損害保険料	0	0	270,010		270,010
租税公課	0	0	4,130,786		4,130,786
支払負担金	0	0	501,808		501,808
研修費	0	0	77,754		77,754
業務委託費	0	0	6,329,055		6,329,055
支払手数料	0	0	33,828		33,828
雑費	0	0	135,470		135,470
経常費用計	151,800,394	292,929,671	99,086,068		543,816,133
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 85,103,795	65,729,047	66,579,898		47,205,150
特定資産評価損益等	0	0	△ 19,092,383		△ 19,092,383
評価損益等計	0	0	△ 19,092,383		△ 19,092,383
当期経常増減額	△ 85,103,795	65,729,047	47,487,515		28,112,767
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	5		5
経常外費用計	0	0	5		5
当期経常外増減額	0	0	△ 5		△ 5
税引前当期一般正味財産増減額	△ 85,103,795	65,729,047	47,487,510		28,112,762
法人税、住民税及び事業税	0	5,242,200	70,000		5,312,200
法人税等調整額	0	777,143	0		777,143
当期一般正味財産増減額	△ 85,103,795	59,709,704	47,417,510		22,023,419
一般正味財産期首残高	△ 161,256,058	597,698,152	1,918,751,654		2,355,193,748
一般正味財産期末残高	△ 246,359,853	657,407,856	1,966,169,164		2,377,217,167
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 1,530,872	0	0		△ 1,530,872
当期指定正味財産増減額	△ 1,530,872	0	0		△ 1,530,872
指定正味財産期首残高	5,193,889	0	0		5,193,889
指定正味財産期末残高	3,663,017	0	0		3,663,017
III 正味財産期末残高	△ 242,696,836	657,407,856	1,966,169,164		2,380,880,184

財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券…該当なし。
- ②子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法によっている。
- ③満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
 - ・時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
 - ・時価のないもの…該当なし。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

- 法人税法に定める方法によっている。なお主な耐用年数は以下のとおり。
- ・1998年(平成10年)4月1日以降に取得した建物と同一性を有する建物附属設備並びに2016年(平成28年)4月1日以降に取得したその他の建物附属設備及び構築物…定額法(10年～15年)
- ・什器備品…定率法(2年～15年)

②無形固定資産

- ・ソフトウェアの減価償却は5年間の均等償却によっている。

(3) 外貨建有価証券の本邦通貨への換算

外貨建有価証券は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替差損益として別掲せず、評価損益に含めて処理している。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の内、当期に帰属する額を計上している。

②貸倒引当金

債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国際会議参加支援資金 普通預金	5,193,889		1,530,872	3,663,017
小 計	5,193,889	0	1,530,872	3,663,017
減価償却引当資産 定期預金	201,719,173			201,719,173
小 計	201,719,173	0	0	201,719,173
インターネット基盤整備基金資産				
外国債券・仕組債	1,040,377,698	100,000,000	119,092,383	1,021,285,315
定期預金	150,000,000	150,000,000	150,000,000	150,000,000
普通預金	129,024,399	100,000,000	100,000,000	129,024,399
小 計	1,319,402,097	350,000,000	369,092,383	1,300,309,714
合 計	1,526,315,159	350,000,000	370,623,255	1,505,691,904

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
国際会議参加支援資産	3,663,017	(3,663,017)	(0)	0
減価償却引当資産	201,719,173	0	(201,719,173)	0
インターネット基盤整備基金資産	1,300,309,714	0	(1,300,309,714)	0
合計	1,505,691,904	3,663,017	1,502,028,887	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	17,809,208	4,660,961	13,148,247
構築物	1,285,680	417,846	867,834
什器備品	204,692,067	186,500,284	18,191,783
ソフトウェア	402,553,147	350,760,912	51,792,235
合計	626,340,102	542,340,003	84,000,099

5 法人の採用する退職給付制度

確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けている。

6 事業費及び管理費の形態別分類

事業費及び管理費の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	事業費			管理費	合計
	IN基盤整備事業費	IP事業費	事業費合計		
給料手当	67,172,034	78,777,239	145,949,273	41,880,571	187,829,844
退職給付費用	3,860,576	4,735,848	8,596,424	2,267,725	10,864,149
賞与引当金繰入額	9,427,945	10,423,869	19,851,814	2,827,536	22,679,350
法定福利費	10,798,846	12,442,470	23,241,316	6,320,267	29,561,583
福利厚生費	147,796	184,800	332,596	439,254	771,850
懇親会費	1,201,968	139,377	1,341,345	653,064	1,994,409
会議費	780,439	127,793	908,232	1,684,060	2,592,292
交際費	33,097	141,237	174,334	27,550	201,884
旅費交通費	7,253,248	5,025,502	12,278,750	2,194,283	14,473,033
通信運搬費	8,491,565	10,292,600	18,784,165	3,905,619	22,689,784
減価償却費	5,420,447	21,003,548	26,423,995	1,892,870	28,316,865
消耗什器備品費	624,098	780,355	1,404,453	453,534	1,857,987
消耗品費	506,794	577,221	1,084,015	316,671	1,400,686
保守料	2,728,656	23,253,207	25,981,863	1,982,926	27,964,789
図書費	2,287	2,860	5,147	1,663	6,810
印刷製本費	1,597,231	1,949,132	3,546,363	1,820,867	5,367,230
光熱水料費	2,009,231	4,860,698	6,869,929	1,460,117	8,330,046
その他賃借料	7,345,517	11,241,581	18,587,098	1,499,589	20,086,687
不動産賃借料	6,249,910	7,814,714	14,064,624	4,541,838	18,606,462
機器賃借料	0	1,306,200	1,306,200	0	1,306,200
火災保険料	14,114	17,648	31,762	10,258	42,020
保険料	55,742	51,694	107,436	30,044	137,480
諸謝金	4,798,513	539,056	5,337,569	11,397,051	16,734,620
損害保険料	0	0	0	270,010	270,010
租税公課	4,155,002	22,800,557	26,955,559	4,130,786	31,086,345
支払負担金	690,525	57,824,096	58,514,621	501,808	59,016,429
研修費	434,067	133,784	567,851	77,754	645,605
業務委託費	5,146,571	15,812,908	20,959,479	6,329,055	27,288,534
支払手数料	515,791	407,131	922,922	33,828	956,750
雑費	338,384	262,546	600,930	135,470	736,400
合計	151,800,394	292,929,671	444,730,065	99,086,068	543,816,133

7 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:円)

未払事業税	536,273
賞与引当金	4,157,638
減価償却超過額	389,255
繰延税金資産合計	5,083,166

8 資産除去債務に関する注記

当法人は、オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来オフィスを移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

9 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債)のみである。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

インターネット基盤整備基金資産のうち投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
国際会議参加支援事業費計上による振替額	1,530,872

附属明細書

1 特定資産の明細

財務諸表の注記2「特定資産の増減額及び残高」にて記載している。

2 引当金の明細

(単位:円)

名 称	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	23,202,035	22,679,350	23,202,035		22,679,350

財産目録

2025年 3月31日現在

(単位:円)

科目	資料No.	金額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		639,331,665	
現金 現金手許有高	1	35,344	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	2	91,144,248	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	3	1,236,440	
普通預金 みずほ銀行東京中央支店	4	546,849,610	
普通預金 三井住友東京営業部	5	66,023	
未収金	6	19,235,218	
未収利息	7	5,671,009	
インターネット基盤整備基金資産未収利息		5,671,009	
未収税金	8	7,134,208	
前払金 事務局家賃/IX費用等/会計ソフト使用料/保険料	9	1,750,864	
立替金 社会保険料等	10	621,023	
前払費用 サーバ等の保守料	11	7,028,508	
流動資産合計		680,772,495	
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
国際会議参加支援資金	12	3,663,017	
普通預金:三菱UFJ銀行神保町支店		3,663,017	
減価償却引当資産	13	201,719,173	
定期預金:三菱UFJ銀行神保町支店		201,719,173	
インターネット基盤整備基金資産	14	1,300,309,714	
外貨建債券・仕組債		1,021,285,315	
定期預金:三菱UFJ銀行神保町支店		150,000,000	
普通預金:三井住友銀行東京営業部		129,024,399	
特定資産合計		1,505,691,904	
(2) その他固定資産			
建物附属設備	15	13,148,247	
構築物	15	867,834	
什器備品	15	18,191,783	
ソフトウェア	15	51,792,235	
電話加入権	16	61,843	
敷金	17	13,344,024	
関連会社株式 ㈱日本レジストリサービス 株式 1385株	18	140,170,000	
長期前払費用 サーバ等の保守料	19	1,088,240	
繰延税金資産	20	5,083,166	
その他の固定資産合計		243,747,372	
固定資産合計		1,749,439,276	
資産合計		2,430,211,771	
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21	17,777,237	
預り金 住民税等	22	832,800	
賞与引当金	23	22,679,350	
未払消費税等	24	5,836,100	
未払法人税等	25	2,206,100	
流動負債合計		49,331,587	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計		49,331,587	
正味財産		2,380,880,184	

公益目的支出計画実施報告書

【2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の概要】

1.	公益目的財産額	2,588,456,331 円
2.	当該事業年度の公益目的収支差額((1)+(2)-(3))	952,425,113 円
	(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	867,321,318 円
	(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	151,800,394 円
	(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	66,696,599 円
3.	当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,636,031,218 円
4.	2の欄に記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由 計画作成時点の見込に比べ、当該事業における収入が上回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が 計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の残りの実施期間および今後の当該事業の 実施規模を鑑みて、実施期間は据え置いている。	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	2036年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,588,456,331 円				
公益目的収支差額	1,242,337,771 円	867,321,318 円	1,357,851,705 円	952,425,113 円	1,473,365,639 円
公益目的支出の額	145,313,934 円	155,458,788 円	145,313,934 円	151,800,394 円	145,313,934 円
実施事業収入の額	29,800,000 円	85,596,069 円	29,800,000 円	66,696,599 円	29,800,000 円
公益目的財産残額	1,346,118,560 円	1,721,135,013 円	1,230,604,626 円	1,636,031,218 円	1,115,090,692 円

独立監査人の監査報告書

2025年4月22日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 江崎 浩 殿

白土将志 公認会計士事務所

東京都千代田区

公認会計士

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの2024年4月1日から2025年3月31日までの2024事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインII-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に

重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正

に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監事監査報告書

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 江崎 浩 殿

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

監事 青木 邦哲 印

2025年4月23日

監事 高田 寛 印

2025年4月23日

監事 南 雄一 印

2025年4月23日

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその他附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上